

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが
育つ古河



大塚 希路 くん
(令和3年2月生まれ)
末っ子君。超甘々♡パワフルに成長中！
(母：加奈)



石山 楓恋 ちゃん(上)
姫音 ちゃん(下)
(令和4年3月生まれ)
(令和5年11月生まれ)
我が家のアイドル♡毎日癒やしをありがとう！ だいすき
(父：翔、母：奈月)



花見 颯太 くん
(令和4年10月生まれ)
生まれてきてくれてありがとう
(父：健一、母：唯)



齊藤 廣 くん
(令和5年2月生まれ)
いつもニコニコ笑顔の廣！
これからも健やかに育てね
(父：誠、母：彩加)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課TEL92-3111)へ申し込みください♪



わたしの夢

薬で世界中を笑顔に

秋山郁さん 釈迦小学校6年生

私は将来、新薬の開発者になりたいと考えています。自分も病気ですらい思をしたことがあるので、薬を開発したいと思うようになりました。今、薬では治らない病気も、治せるような薬をつくりたいです。そのためにも、勉強をがんばろうと思っています。

立派な薬の開発者になって、世界中の研究者と協力しながら薬を開発し、薬の力で世界中のたくさんの人々に笑顔届けたいです。



キラリ
古河ビト

「捕手」としてチームの柱に

全国高等学校野球選手権大会に3年連続出場

秋葉 奨太さん(18歳・本町)

キャッチャーをしていた父親の影響で野球を始め、春夏の甲子園出場24回を誇る名門、愛知工業大学名電高等学校に入学。昨年の夏には正捕手として3度目の甲子園に出場した秋葉さんに、これまでの野球人生や今後の夢について話を伺いました。

小学3年生から試合に出場するなど、地元チームのリトル古河で野球人生をスタートさせた秋葉さん。卒業後は小山ボーイズに入団し、さらに技術を磨きました。中学2年生の愛知遠征でのプレーが高校関係者の目に留まり、進学が決まったそうです。その際に恩師となる監督から「捕手」は「補手」。チームの足りない部分を補うのが君の役目」という手紙をもらい、この言葉が野球を続ける上で秋葉さんの心の支えになっていくと言います。

入学後は同じ志を持った仲間と共に、野球に専念できる環境下で厳しい練習に取り組んできました。その成果が実を結び、夏の甲子園3年連続出場という偉業を達成します。最後の夏は副キャプテンとしてチームを引っ張り、憧れだった甲子園の打席にも立ちました。残念ながら1回戦敗退となりましたが、チームの雰囲気も良く、伸び伸びプレーできた振り返ります。

「自分の成績の良し悪しより、キャッチャーとしてチームを支えることが勝利につながればうれしい」と語る秋葉さん。恩師の言葉を胸に秘め、プロの道を目指して今日も練習に励んでいます。近い将来、仲間を鼓舞する秋葉さんの姿をテレビを通して見る日が来ることでしょう。



▲仲間とつかんだ勝利の瞬間



▲長打力も武器の一つです



▲捕手としてチームをまとめました